

ホープ特選・回顧録

第69回百万石賞

シーズン前半のビックイベント
決めたのは望月騎手・ナミダノキス

金沢10R 頂上決戦 11頭 2100m. Table with columns for horse names (e.g., ナミダノキス, リュウノブレイク), jockeys, and race statistics.



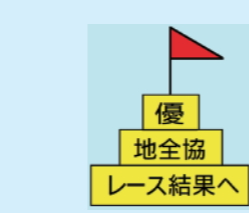
1着 ⑧ナミダノキス 金田厩舎



2着 ⑪リュウノブレイク 加藤義厩舎



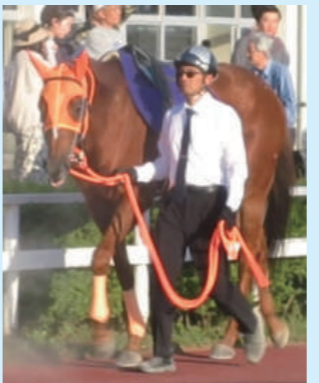
直線突き離し・大差勝ち! ⑧ナミダノキス



記念撮影



3着 ⑦マンガン 中川厩舎



4着 ②シンリミテス 加藤義厩舎



望月洵輝
もちづきじゅんき
(馬主服)



インタビュー



7着 ⑨ヴェルテックス 井樋厩舎



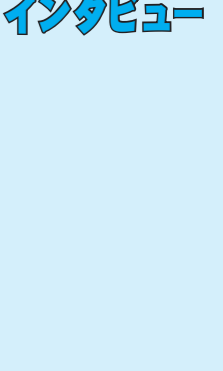
8着 ⑩クーアフルスト 加藤義厩舎



9着 ④ダイヤモンドライン 佐藤厩舎



5着 ⑤サヴァ 井樋厩舎



6着 ⑥ウェザーコック 堀場厩舎

【レース回顧】 1着⑧ナミダノキスは1周目の直線で前に接近3番手。向正面に入ると前の⑩加藤義勢にプレッシャーを掛ける。そこから3角手前で先頭に並び抜き去ると、鞍上の望月騎手は後ろを確かめながら馬なりで引き離す。直線も追ったところなしで好時計。このレースを目標に仕上げてきた陣営の目論見通り大变身を遂げた。2着⑪リュウノブレイクは予定通りにリラックスを心掛けての後方策。勿論、上りタイムはメンバー中で一番だったし、直線外からの脚は際立っていた。3着⑦マンガンは後方集団から前の馬を一頭一頭交し上るも4角では入着あればの位置だったが、直線外からしっかり伸び2着争いに加わった。4着②シンリミテスは逃げも早目にプレッシャーを掛けられる。3角で並ばれてからは防戦一方も崩れず踏ん張ったのは底力。5着③タブラオは積極的に前に付いて行く。向正面では前の馬が置かれ厳しい手応えだったが、後半外に出してジリジリ詰め入着を果たした。